

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
(こちらに掲載している内容は、2025年4月現在の内容です)

ネキリベイト

有効成分：ペルメトリン…0.10%

農林水産省登録 第23683号

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期※	総使用回数※	使用方法
花き類・観葉植物	ネキリムシ類	3g/m ²	生育初期	6回以内	株元散布
はくさい、ごぼう			は種時～生育初期	5回以内	
だいこん				4回以内	
オクラ				3回以内	
キャベツ			生育初期	本剤：5回以内 ペルメトリン：5回以内（但し、株元灌注は2回以内）	
レタス、ブロッコリー、カリフラワー、ピーマン、いちご、たまねぎ、かんしょ、やまのいも、さといも、かぼちゃ				5回以内	
なばな類*、ねぎ、わけぎ、あさつき、豆類(未成熟)、そらまめ、だいず、なす、きゅうり、トマト				3回以内	
ミニトマト			生育初期(但し、収穫14日前まで)	本剤：1回 ペルメトリン：4回以内（但し、株元散布は1回以内、散布及び噴射は合計3回以内）	
とうもろこし、ばれいしょ				4回以内	
ほうれんそう、しゅんぎく				2回以内	
たかな				本剤：2回以内 ペルメトリン：5回以内（但し、乳剤は3回以内、粒剤は2回以内）	

非結球レタス			本剤：2回以内 ペルメトリン：4回以内（但し、乳剤は2回以内、粒剤は2回以内）	
にんじん			5回以内	
ズッキーニ		生育初期(但し、収穫開始7日前まで)	本剤：3回以内 ペルメトリン：6回以内（但し、乳剤は3回以内、粒剤は3回以内）	
もりあざみ			3回以内	
エンサイ		生育初期(但し、収穫14日前まで)	2回以内	
ヤングコーン		生育初期(但し、収穫30日前まで)	4回以内	
葉しょうが		定植時～発芽期 (但し、収穫120日前まで)		
しょうが		定植時(但し、収穫21日前まで)	2回以内	
エンダイブ		収穫3日前まで	本剤：4回以内 ペルメトリン：4回以内（但し、散布は2回以内）	
かぶ		収穫前日まで	3回以内	
にら、にら(花茎)		収穫開始7日前まで	2回以内	
アスパラガス、パセリ		収穫前日まで		
とうがらし類		生育初期(但し、収穫90日前まで)	本剤：2回以内 ペルメトリン：4回以内（但し、乳剤は2回以内、粒剤は2回以内）	
はっか		収穫前日まで		
にんにく		収穫7日前まで	3回以内	
しそ				
らっかせい				

びゃくし			収穫 90 日前まで	4 回以内	
------	--	--	------------	-------	--

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期※	総使用回数※	使用方法
ごぼう	ネキリムシ類	3g/m ²	は種後～発芽前	5回以内	土壤表面散布
やまのいも			植付前		
たまねぎ			定植前		

●本剤 40 粒（長さ 3 ~ 10 mm 位のもの）で約 1 g です。散布は一ヵ所に集中せず均一に散布するとより効果的です。

* 「なばな類（茎葉及び花蕾を収穫するもの）」には「太田かぶ」が含まれます。

- 2024 年 8 月 7 日付：ごぼう、やまのいも、たまねぎの変更。
- 2022 年 8 月 30 日付：しそ、ミニトマトの変更。
- 2022 年 2 月 9 日付：たかな、非結球レタスの追加。
- 2020 年 6 月 18 日付：かぶの変更。
- 2019 年 5 月 15 日付：キャベツの変更、ズッキーニ、にんにく、ヤングコーンの追加。
- 2018 年 3 月 28 日付：はっか、しそ、らっかせい、びゃくしの変更。

●効果・薬害等の注意

- 作物体上から作物の地際の表面に散布してください。
- 使用量、使用時期、使用方法などを守ってください。本剤を適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

●安全使用上の注意

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 誤食に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。使用中に身体に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布時は、マスク、手袋などを着用してください。粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 犬、猫などのペット類や家畜、家禽等が誤食するおそれがあるので、食べる可能性のある場所

での保管及び使用はしないでください。

●蚕に長期間毒性があるので、付近に桑園がある所では使用しないでください。

●ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。

●使用後の空容器は良くたたいて中身を完全に出てから処理してください。

治療法：メトカルバモール製剤の投与が有効(動物実験で報告)。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)